

JAあわ

2025

12

No.357



人とつながり、土とつながり、房総の未来へつなぐ

地域の再生は一本の苗から始まる

自然の厳しさを超え、

希望の「南房総レモン」芽吹く

繋げよう
安房の未来へ

スマイルファーマー なむやレモン研究会

宮久地 淳さん(写真右)

宮久地 道子さん(写真左)

愛息子の光君(写真中) 南房総市富浦町南無谷地区

JA安房

風に倒れても、想いは立ち上がる レモンの木が育つこの場所に 地域の未来が息づいています



南房総市富浦町南無谷地区

なむやレモン研究会 宮久地 淳さん

品目（南房総レモン、房州びわ）

びわの木は、私の人生そのものでした。父の代から受け継ぎ、季節の移ろいとともに手をかけ、実りを待ち、地域の人々と喜びを分かち合ってきました。そのびわの木が令和元年の台風で次々と倒れていった時、胸が張り裂けるような思いでした。畑に立ち尽くし、風に吹かれながら「これからどうすればいいのか」と自問したあの日のことは今でも忘れられません。

そんな私に、当時びわの栽培指導でお世話になっていた安房農業事務所果樹担当の方が「レモンを育ててみてはどうか」と声をかけてくれました。びわとは違い、栽培期間が短く経営の再建にもつながる可能性があると感じ、正直迷いもありましたが、同じようにびわを失った仲間たちと話し合い、もう一度前を向こうと決めました。こうして、私たちは「なむやレモン研究会」を立ち上げ、J・Aと連携しながら新たな一歩を踏み出しました。レモン栽培は初めての事ばかりで、土づくりから剪定、病害虫対策と、びわとは違う作業に戸惑いながらも仲間と励まし合い、J・Aや農業事務所の方々の支えを受けて少しずつ畑に命が戻ってきました。レモンの木に初めて黄色い実がついた時、心の底から嬉しかったのを覚えています。あの瞬間はこれから育てていく希望を感じた瞬間でした。

今では、びわとレモン、二つの果実を育み、季節ごとの楽しみを皆さまにお届けしています。

びわは私の原点、そしてレモンは再出発の象徴です。どちらも大切にどちらにも想いが詰まっています。レモンは爽やかな香りと明るい色で、地域の方々にも喜ばれ、加工品としても広がりを見せています。レモネードや焼

WISH

農業に希望を
地域に明るい未来を

季節と共に、私たちの希望も重ねています



柔らかな緑の果実から
季節を重ね鮮やかな黄色に
南房総レモンの爽やかな香りが
地域を優しく包み込みます



ひとつひとつの実に
未来への願い

き菓子など、南房総の新しい味として少しずつ根付いてきました。

自然は時に厳しく、思い通りにならないことも多いけれど、それでも土に向き合い、木を育て、実を結ぶ。その営みの中に農業の本当の意味があるのだと思います。びわとレモン、そしてこの南房総の風土を守りながら次の世代へとこの畑を繋いでいきたい。そんな想いで今日も畑に立っています。



未来を担う安房の子供たちへ

美味しいごはん「おかわり」
管内小中学校給食へ新米振舞われる



J A安房は10月、管内3市1町の学校給食用に地元産の新米「コシヒカリ」840キロを贈呈しました。また贈呈に合わせ各行政へ「国消国産」について、より一層の理解、醸成を図る目的としてパネルや啓発コーナを設置しました。

この新米贈呈は食農教育の一環で安心、安全で美味しい新米を食べてもらう事で農業の大切さ、地産地消に少しでも興味、関心をもってもらいたいと思います2012年より行っています。

同月29日には鴨川市内の小中学校、幼稚園約2000人の子供らへ給食で振る舞われ、取材に伺った江見小学校では「地元産のコシヒカリおいしい」「もちもちしてる」と笑顔を見せ、教室に温かな雰囲気広がりました。また「おかわりしたい!」と元気に手を挙げる子供たちの姿も見られ、地域の恵みを実感する給食時間となりました。

佐野富雄代表理事専務は「子供たちが主食である米や地域の農業に関する事へ興味を持つのはとても重要な事。生産者が丹精込めて育てたお米を地元の子供たちに食べてもらう事は、生産者にとっても大きな励みになります。この新米を通して未来を担う子供たちへ自国で消費する食料を国内で生産する『国消国産』について考えるきっかけにしたい」と話しました。

ふっくらと炊き上がったごはんを頬張る子どもたちの笑顔には、育てた人の想いと土地の恵みがしっかりと息づいています。

この一杯のごはんが、地域の力となり、子どもたちの記憶となっていくます。

地域の实りは日本の力



牡牛座

(4・20～5・20)

【全体運】上昇運。しっかりいかなかったことも次第に整ってきます。周囲との和を大切に、流れに乗って。忘年会にツキ
【健康運】体にいいことを続けて。手応えを感じられるはず
【幸運の食べ物】アンコウ



牡羊座

(3・21～4・19)

【全体運】勢いのある好調運。ただ、ままならない思いをしている人もいるので配慮を忘れずに。リーダーシップが光ります
【健康運】後半は後退。油断せず健康習慣をキープして◎
【幸運の食べ物】ミカン

12月の運勢

モナ・カサンドラ

JAawa report 1



10/29

3市1町へ

学校給食用新米贈呈

ふるさとの恵みを未来へつなぐ

館山市、南房総市、鴨川市、鋸南町



国消国産の力で
広がる美味しい笑顔
一杯のごはんから
始まる未来



千葉県JA広報コンクール 広報誌「JAあわ」が最優秀賞受賞 JA広報大賞コンクール(全国)へ

「令和7年度千葉県JA広報コンクール」において、JA安房が「広報誌の部」で最優秀賞、「パブリシティの部」で優秀賞を受賞しました。広報誌では、地域農業の未来を担う若手農家を表紙に起用し、農業の魅力や希望を感じていただける誌面づくりに取り組んできました。

読者の皆様からは毎月温かいお言葉を数多く頂戴しています。クイズの応募はがきや街中の声には、生産者への応援メッセージも多く寄せられ、地域の農業とともに支え育てていこうという想いが伝わり、こうした声の一つひとつが広報活動の大きな力となっています。心より感謝申し上げます。

また、パブリシティの部共に、地元の房日新聞社様や千葉日報社様など多くのメディアと連携し、JA安房の取り組みや地域農業の今を広く発信してきました。

この受賞を励みに、今後地域の方々とともに歩みながら、JA安房の魅力、そして地域農業の未来を発信し続けてまいります。なお、広報誌の部、パブリシティの部共にJA広報大賞（全国コンクール）への出品が決定しました。引き続き、温かいご支援をよろしくお願いいたします。

地域農業、担い手農家の魅力あふれる JA 安房広報誌

10/9

安房の新たな魅力発見 山一面に広がる柑橘の香り 鋸南小学校校外学習 千倉オレンジセンター

JA安房は10月9日、管内鋸南小学校5年生が、校外学習の一環として千倉オレンジセンターにて、みかん狩り体験を通じて農業の魅力に触れる授業を行いました。秋晴れの下、児童たちは実りの季節を迎えたみかん畑に入り、自分の手でみかんを収穫。「自分でとったみかんは甘くてびっくりした」「農家さんってすごいと思った」といった声が聞かれ、収穫の喜びとともに、農業への関心が高まる貴重な体験となりました。取れたてのみかんを頬張り笑顔があふれ、自然とふれあう楽しさを感じるひとときとなりました。

当日は、同センターの加藤千明さん、JA安房広報担当者が講師となり、子供たちからは「どうやって甘く育てるの?」「1本の木に何個くらいなるの?」など多くの質問が寄せられ、農業への興味の高さが伺えました。加藤さんは「子どもたちが目を輝かせて質問してくれる姿に農業の未来を感じました。自然の恵みを育てる仕事の楽しさや収穫までの苦労も含めて伝えられたことが嬉しいです。この体験が、食べ物の大切さや地域の農業への理解につながってくれたらと思います」と話しました。JA安房では今後も生産者と連携した様々な食育活動を企画、開催していきます。

生産者の加藤千明さんと鋸南小学校5年生



採れたてみかんをパクリ





10/13

地域を盛り上げる希望の果実

JA安房ブランド「南房総レモン」今年も出荷始まる

JA安房丸山柑橘部会/なむやレモン研究会

南房総市富浦町南無谷でびわとレモンを栽培している「なむやレモン研究会」の宮久地淳さんの圃場で今年もレモンの木に実が付き始めました。

同研究会は令和元年度台風の影響でびわの木に甚大な被害を受け、再起のため経営栽培までの期間が短いレモンに注目し栽培を開始、現在植樹から7年ほど経ち順調に実をつけ圃場を訪れると爽やかなグリーンレモンの香りで迎えてくれます。

宮久地淳さんは「この山の圃場でレモンを育て始め数年になりますが、毎年この時期になると実が少しずつ色づき始める様子が胸が高鳴ります。この土地の自然と研究会の仲間、JA他関係機関の支えがあって、小さな苗木から育ててきたレモンがこうして出荷できるまでになったことが本当に嬉しいですね」と話しました。

JA安房ブランドの南房総レモンは「JA安房丸山柑橘部会」「なむやレモン研究会」のレモンが中心で「ちばエコ農産物」の認証を受けています。今季は10月13日より出荷が始まり今後出荷量が増え2月まで続く見込です。



初出荷された南房総レモンを手に笑顔の生産者、尾形茂樹さん



香り豊かなグリーンレモン(宮久地さん圃場)

10/22

JA安房のブランド枝豆「安房一豆」一途に育て今年も実りの季節



10月22日、JA安房のブランド枝豆で晩生品種の「安房一豆」が今シーズン初出荷されました。

「安房一豆」は、大豆在来種の中から選抜された安房地域に適した晩生品種であり、草丈が他の在来品種に比べ低いため倒れにくく栽培しやすく強い旨味が特徴の枝豆です。平成29年からJA安房のブランド枝豆として現在管内では9名の生産者が栽培、出荷に取り組んでいます。

管内生産者の伊藤龍太郎さんの圃場では例年7月上旬に播種時期を迎えますが、今年は雨が降らなく実入りへの影響が懸念されたため8月に播種を行いました。これが功を奏し適度な雨も降り天候に恵まれ、生育は順調で実入りも良好、11月初旬まで出荷しました。

伊藤龍太郎さんは

「秋の味覚『安房一豆』毎日畑に出て、莢のふくらみや葉の色を見ながら、最適な収穫時期を見極めていきます。香り豊かで旨味や甘みの特徴の美味しい枝豆です。収穫時期は短いですが、皆さんにこの時期の安房の恵みを味わっていただきたいです」と収穫した安房一豆を手に笑顔で話しました。



安房一豆を生産する伊藤龍太郎さん収穫中をバシヤリ





出来上がった作品を前に笑顔のアンシャンテ倶楽部と JA 安房女性部

きらめき 安房女性部

花の力で心を結ぶ

JA安房女性部、
JA八千代市フレッシュユミズ・
アンシャンテ倶楽部との交流会



10月15日、JA安房女性部はJA八千代市本店にてJA八千代市フレッシュユミズ・アンシャンテ倶楽部とのフラワーアレンジメント交流会を開催しました。安房・八千代両地域から女性部員やJA関係者あわせて12名が参加し、季節の花々を囲みながら世代や地域を越えた温かな交流の時間を過ごしました。

今回の交流会は、女性部活動の活性化と若手組織とのつながりづくりを目的に、安房地域で育てられた花々を持ち寄り、フラワーアレンジメントを通じて互いの活動への理解を深め合うための企画で、参加者は「この花は私たちの地域で育てたものなんですよ」と紹介しながら、色とりどりの花を手作品づくりを楽しみました。

アレンジメントの合間には、各地域での女性部活動の取り組みや課題についても語り合い、活発な意見交換が行われました。アンシャンテ倶楽部の須田希美部長は「花を手にする、自然と会話が生まれますね。地域が違って、同じように活動を頑張っている仲間がいることを知り、心がほっとしました。花を通じて気持ちにつながる、そんな素敵な時間でした」と交流の喜びを話しました。

今回の交流は、JA安房女性



笑顔と想いを束ねて



山羊座
(12・22～1・19)

【全体運】上昇運です。忙しいですが努力に結果が付いてきます。いいかげんなことはせず誠意を見せて。年末の休暇は多めに
【健康運】あったか靴下や手袋を愛用して。つば押しも◎
【幸運の食べ物】ゴボウ



射手座
(11・23～12・21)

【全体運】やりたいことに向かって一直線に進めば大きな成果が。こぼれ落ちるものには縁がないと割り切りましょう
【健康運】旬の食材は元気の源。野菜と魚を多めに
【幸運の食べ物】クワイ



咲いたご縁、世代を超え 心を通わせるフラワーアレンジメント



花には素敵な笑顔が似合います♪



色とりどりの花でのアレンジメント



部にとっても大きな刺激となり、若手女性部組織「フレッシュミズ」の立ち上げを検討するうえで貴重な機会となりました。若い世代の柔軟な発想や前向きな姿勢に触れることで、既存の活動にも新しい風が吹き、より多様な魅力ある取り組みへとつながる期待が高まりました。

交流会を終えて、JA安房女性部の羽田百合子部長は「若い世代の方々の活動を直接聞けて、とても刺激になりました。私たちの女性部ももっと楽しく、もっと地域に寄り添った活動を広げていけたらと思います。今日の出会いが、次の一歩につながる気がしています」と笑顔で話しました。JA安房女性部では、今後も各地域の女性部と交流を通じて、地域の魅力を発信しながら、女性部活動の更なる充実を目指していきます。



地域を超えて広がる女性の輪





10/17 つながる想い、広がる支援 交通遺児育英資金募金 館山駅前で募金活動



館山駅前で行われた募金活動
あたたかいご支援ありがとうございます



J A 安房とJ A 共済連千葉は10月17日、館山駅前にて「J A 共済交通遺児育英資金募金活動」への街頭募金を実施しました。この募金活動は、交通遺児の支援と一般市民への交通安全の呼びかけを目的として毎年行われ、今年で47回目の開催となり街頭募金はその締めくくりとなります。

J A 安房からライフアドバイザー職員が参加し、通勤・通学途中の方々に「ご協力をお願いします」と声をかけながら温かい支援の輪を広げる呼びかけを行いました。足を止めて募金に応じてくださる方や励ましの言葉をかけてくださる方も多く、地域の思いやりに触れるひとときとなりました。参加したJ A 安房の担当者は「交通遺児の育英資金は、未来への希望をつなぐ大切な支援です。地域の皆さまのご協力に、心から感謝申し上げます。皆さまの温かい支援が少しでも交通遺児の支援、交通安全の普及、啓発に繋がればと思います」と話しました。街頭募金とJ A 安房各支店窓口等に寄せられた分を合わせて13万6839円の募金が寄せられ、全国共済連を通じて千葉県交通安全対策委員会に届けられました。ご協力ありがとうございました。

10/24 JA安房花卉部総代会開催 10/29 JA安房野菜部総代会開催

J A 安房野菜部会は10月29日、J A 安房本店で通常総代会を開催しました。

部会役員及び総代、関係機関、J A 担当者20名が出席し、提出した事業報告および収支決算、事業計画および収支予算、役員改選の3議案が慎重審議の結果、可決・承認されました。



JA 安房野菜部総代会で挨拶を述べる佐野富雄代表理事専務



JA 安房花卉部総代会で挨拶を述べる福原義和常務理事

J A 安房花卉部は10月24日、館山市内で通常総代会を開催しました。部会役員及び総代、関係機関、J A 担当者42名が出席し、提出した規約の変更、事業報告および収支決算、会費の徴収方法、予算、事業計画、および収支予算、役員改選の5議案が慎重審議の結果、可決・承認されました。

執行役員は次の通り（敬称略）

▽部長 相川 宏治

▽副部長 西郷 隆好

▽副部長 川名 一男

▽会計 鈴木 浩仁

▽監事 石井 斉

井関 徹



10/17

小さなバケツから広がる
大きな学び
バケツ稲収穫授業
南房総市立三芳小学校
全農ちば×JA安房



実りのよろこびをこどもたちへ

全農ちば広報島田講師、JA 安房広報による出前授業



南房総市の純農村地域にある三芳小学校では、JA 安房による「バケツ稲」の授業が5年生を対象に行われました。6月から始まったこの取り組みは、児童たちが種もみの塩水選から土入れ・播種、水管理まで稲作の一連の工程を自らの手で体験授業です。

小さなバケツの中で育つ稲を毎日観察しながら、児童たちは自然の営みや農業の大切さを肌で感じてきました。「水をあげるタイミングが難しかったけど、だんだんコツがわかってきた」「葉っぱの色が変わっていくのが面白かった」と、稲の成長に寄り添う日々は発見の連続でした。

そして迎えた10月17日、いよいよ収穫の時。児童たちは自ら稲を刈り取り、牛乳パックとすり棒を使って粃摺り・精米までを体験しました。手作業による工程に驚きながらも「お米ができるまでにはたくさんさんの工程があることを知った」「自分たちで育てたお米を食べてみたい!」と、収穫の喜びを口々に話しました。授業の後半では全農ちばの広報担当者を招き、千葉県の農産物「梨」に関するクイズやディスプレイを實施、児童たちは地元の農業だけでなく、県全体の農産物についても楽しく学び、「育てる」「収穫する」「知る」「考える」といった多面的な学びを深めました。

JA 安房広報担当者は「児童が自らの手で育て、収穫し、加工する一連の体験を通じて農業の奥深さと食のありがたさを実感する貴重な機会となりました。全農ちばの皆様にもご協力いただき、地元だけではなく県の農産物への理解も深まりました。今後もしこうした体験を通じて、子どもたちへ『農業の力』を伝え続けていきます」と話しました。



育てるよろこび、味わう感動、バケツ稲の授業



収穫した稲を粃摺り、精米へ



自分たちで育てた稲を手にニコリ



JA 安房



定期貯金 ウインターキャンペーン 2025

(取扱期間: 令和7年11月4日～令和7年12月30日)

個人の組合員およびその同一世帯の家族

新たな資金で30万円以上、または新たな資金30万円以上の増額書替

	新規	増額書替
1年	年 0.65%	年 0.35%
3年	年 0.86%	年 0.55%

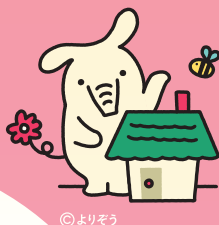
募集総額: 30億円 (募集金額に達した時点で終了させていただきます。)

組合員加入については出資が必要となります。詳しくは窓口までお問い合わせください。農家の方でなくても組合員になれます。

2025年
11月1日(土)
▼
2026年
4月30日(木)

JAバンク千葉

ローン キャンペーン



多目的
ローン

結婚式費用、引越し費用、
家電の買い替えに。
または他行からの借換えなど
基準金利(年)
(2025年11月1日現在)



教育
ローン

入学金・学費の資金や
留学費用に。
または他行からの借換えなど
基準金利(年)
(2025年11月1日現在)



マイカー
ローン

新車購入の資金や
バイク購入の資金に。
または他行からの借換えなど
基準金利(年)
(2025年11月1日現在)

変動金利
5.875%

キャンペーン
最大引下げ後金利
変動金利

年 **3.00%**

保証料別

変動金利
3.675%

キャンペーン
最大引下げ後金利
変動金利

年 **1.50%**

保証料別

変動金利
5.375%

キャンペーン
最大引下げ後金利
変動金利

年 **1.50%**

保証料別

金融移動店舗 運行スケジュール



お取り扱い業務

曜日	2025年12月	営業場所	
		午前 (10:00～11:30)	午後 (13:00～14:30)
火	2・9・16・23	旧白浜支店	旧豊房支店
水	3・10・17・24	旧鋸南支店	旧館野支店
木	4・11・18・25	旧小湊支店	旧江見支店

- ・普通貯金の入金・出金
- ・定期性貯金（定期積金含む）の受入
- ・定期性貯金（定期積金含む）の解約（本人口座へ入金のみ）
- ・通帳記帳・繰越
- ・事故届受付（通帳・証書・カード・印鑑に限る）

※12月30日（火）の運行につきましては、業務の都合により休業させていただきます。
 ※運行予定日が休日の場合は休業となります。
 ※天候不良や車両整備で運行ができない場合や、災害などが発生し、被災地より派遣の要請があった時は臨時休業となります。

※1人当たり現金取引については1日50万円以内

歳末セール

開催日:12月25日(木)～12月29日(月)
 場所:JAグリーン館山、鴨川



安房の恵みを取り揃え皆様のご来店を心よりお待ちしております。
 1年の締めくくりのお買い物をぜひJAグリーンで♪

JAグリーン 移動販売12月の予定表

	日	曜	時間 場所		
第1週	3	水	10:00 北条支店	11:00 旧鋸南支店	
	4	木	10:00 西川名公民館	10:30 布良漁港前	11:00 旧白浜支店
	5	金	10:00 豊岡青年館前	10:40 岡崎新聞店前駐車場	
第2週	9	火	11:00 パークウェルステイト鴨川		
	11	木	11:00 旧小湊支店		
	12	金	9:30 本店	10:00 千倉支店	10:30 丸山支店
第3週	17	水	10:00 北条支店	10:50 旧鋸南支店	
	18	木	10:00 西川名公民館	10:30 布良漁港前	11:00 旧白浜支店
	19	金	10:00 豊岡青年館前	10:40 岡崎新聞店前駐車場	
第4週	23	火	11:00 パークウェルステイト鴨川		
	25	木	11:00 旧小湊支店		
	26	金	9:30 本店	10:00 千倉支店	10:30 丸山支店

※その他順次運行予定です。
 ※時間は目安となります。状況により前後する場合がございますので予めご了承願います。
 諸事情により日程の変更等がある場合はJA各支店に掲示致します。
 ※布良漁港前・岡崎新聞店前駐車場は、雨天・強風の場合は中止となる場合がございます。

※JAグリーンでは農産物等の出荷者を随時募集しています。(産直友の会)

館山店 〒294-0043 千葉県館山市安布里 448-1
 TEL.0470-30-9211 営業時間 9:00～17:00
 鳥獣対策コーナー設置店舗

鴨川店 〒296-0033 千葉県鴨川市八色 557-1
 TEL.04-7093-3406 営業時間 9:00～17:00

12月の切花出荷日

※●印の日は出荷できません

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
29	29	30	31			

- は、出荷がありませんので、注意して下さい。
- ・この表は「花卉卸売市場の臨時休・開市日」を元に作成しております。
- ・基本的な出荷は火曜日、木曜日、日曜日となります。
- ・2日前出荷（D2）など特殊な出荷につきましてはこの限りではありません。

12月の野菜出荷日

※●印の日は出荷できません

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
29	29	30	31			

※上記カレンダーとは、一部異なる場合がございます。ご不明の点は、各事務局までお問い合わせください。

大豆、米、食塩だけで
造りました。
香りとコクを楽しめる
半粒タイプの
赤こうじみそです。

① 食べ頃
仕込み味噌
7.2kg (1.8kg×4)
5,500円 (税込価格)



③ 食べ頃
仕込み味噌
4kg (1kg×4)
3,500円 (税込価格)



⑤ 食べ頃仕込み味噌 減塩
4.5kg (750g×6) 3,800円 (税込価格)



⑦ 長熟みそ
10kg
7,000円 (税込価格)

『自家熟成』タイプ 仕込みそはひと夏過ぎた9月中・下旬頃から
食べ頃になります。期間限定品11月～翌年3月

食卓紀行
⑧ 10kg 6,800円 (税込価格)

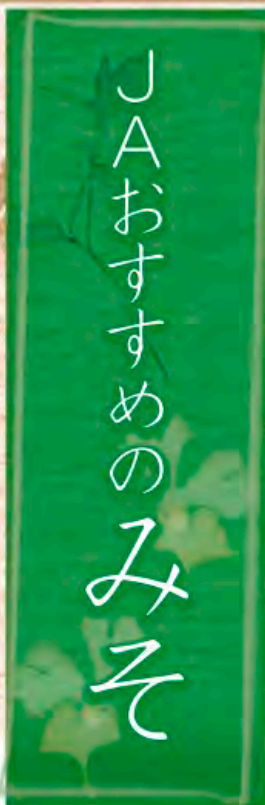
詰替え不要
⑨ 10kg 6,200円 (税込価格)
⑩ 20kg 11,400円 (税込価格)

詰替え用
⑪ 20kg 11,200円 (税込価格)

⑫ 信州田舎風即席みそ汁
291.4g (9.4g×31食)
980円 (税込価格)

組員・利用者みなさまへ

今だけの特別価格 ぜひこの機会にご注文ください



国産大豆・国産米100%使用

大豆の皮をむき、
色・つや・甘味・旨味を
引き出しました。
まろやかな半粒タイプの
白こうじみそです。

② 食べ頃(白)
仕込み味噌
7.2kg (1.8kg×4)
5,500円 (税込価格)



④ 食べ頃(白)
仕込み味噌
4kg (1kg×4)
3,500円 (税込価格)



⑥ 食べ頃
まろやか仕込み味噌 4kg (1kg×4)
3,500円 (税込価格)

JA女性部の活動に参加しませんか？

「郷土の味を次の世代に残したい」、
「地域の特徴を活かした加工品を作りたい」、
「料理や野菜づくりを教わりたい」、「健康づくりのための活動をしたい」など、
誰だって叶えたい夢や希望があるはず・・・
そんな、皆さんの思いを形にするための仲間づくりをしませんか？
JA安房女性部では女性部員を募集しております。年齢等は問いません。
どなたでも参加できます。

お気軽に
お問い合わせ
ください♪



JA安房女性部事務局 担い手支援課 Tel0470-24-9355

安心の"JA葬祭"

- 病院からでも、ご自宅からでも24時間ご対応いたします。
- JA虹のホールにて故人様をお預かりすることも可能です。
- ご自宅・寺院での葬儀もお手伝いします。

JA 葬祭の詳しい内容は右の
QRコードをお読みいただくか、
ホームページをご覧ください。
<https://jalife.co.jp>



ご葬儀・ご法事・事前相談は... **JA葬祭**
☎ **0120-015-983**
年中無休・24時間受付

お詫びと訂正
広報誌11月号15P掲載355号ク
ロスワードパズル正解に誤りがありま
した。左記のとおり訂正致します。
誤 カタオモイ
正 タミイレ
この度の掲載誤りについて、訂正
しお詫び申し上げます。

◎業務報告
認について
事業取引(工事請負契約締結)の承
外適用金利差について/理事との
キャンベーンに係る組員と組員
に伴う店舗移転について/長狭支店新築
程の一部変更について/定期貯金
主な議案/情報セキュリティ基本規
程の
とき 令和7年10月28日
と 本店 大会議室
〇令和7年度第10回定例理事会

理事会報告

みんなの広場

頭の体操 クロスワードパズル

二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

出題・ニコリ

タテのカギ

- ①夜目——笠の内
- ④足を中に入れて暖を取ります
- ⑦サッカー日本女子代表の愛称に使われている花
- ⑨クリスマスツリーに使われる木
- ⑩日本酒を温めること
- ⑪じょうごとも呼ばれる道具
- ⑬忘年会で乾杯の——を取った
- ⑮高いところに載せたものを取りときの体勢
- ⑯クリスマスツリーのてっぺんにも飾ります
- ⑰青い染め物に使われる植物
- ⑱物ごとの順序などがさかさまになっていること
- ⑳ささがきにすることも多い根菜
- ㉑韓国の首都

ヨコのカギ

- ①サンタクロースが乗るソリを引きます
- ②練り物や大根などを煮込みます
- ③ごはんのこと。握り——
- ⑤和服の袖の下、袋状の部分
- ⑥——を憎んで人を憎まず
- ⑧南米の北端にある国。首都はボゴタ
- ⑫漢字では独活と書く山菜
- ⑬木を切り倒すときに使います
- ⑭dBと表記される、音などの強さを示す単位
- ⑮暮れのあいさつとして贈ります
- ⑯人間は二足——をする生き物です
- ⑰疲れたときには出して、おいしいときには落ちるもの
- ⑱泣き顔になること。——をかく



■ 356号
クロスワード
パズル正解
ブンカサイ

まちがいさがし



右のイラストには左のイラストと違う部分が5カ所あります。間違っている部分を左下の枠内の数字で探しましょう。
出題・イラスト：酒井栄子



- 答え
- 2…枯れ葉が欠けていない
 - 4…買い物メモの枚数が多い
 - 6…家がない
 - 9…お菓子が増えている
 - 11…焼き芋が皿にのっていない

■ 356号
まちがいさがし正解
2 4 6 9 11

クロスワードパズル・まちがいさがし 応募要項

はがきに必要な事項を明記してお送り下さい。クロスワードパズル・まちがいさがしの両方を正解された方の中から、抽選で10人の方に500円分の図書カードをプレゼントいたします。
送り先 〒294-0005 館山市安東72 JA安房広報担当宛
締め切り 令和7年12月10日(水) 消印有効

広報のつぶやき

冷たい風と朝晩の空気に冬の訪れを感じる季節となりました。畑に立つと吐く息が白く、身も心も引き締まるような気持ちになります。日中は穏やかな陽射しに包まれる日もありますが、寒暖差のあるこの時期は、農作業や屋外活動において体調管理が欠かせません。

圃場では食用ナバナの収穫が進み、青々とした葉が冬の光を受けて輝いています。寒さの中でも力強く育つ作物の姿に、地域の営みのたくましさと共に生きる農業の尊さを感じます。農家の皆さんの手仕事、季節の彩りを食卓へと届けてくれることに改めて感謝の気持ちが湧いてきます。今号では、千倉オレンジセンターさんにご協力いただき、小学校の校外授業を実施しました。柑橘の香りに包まれながら、生産者の話に耳を傾ける子どもたちの姿は、地域の未来を育む希望そのものです。「育てる人」と「食べる人」が出会うこの時間は、食の大切さを実感する貴重な学びの場となりました。そして、12月といえばクリスマス。街のイルミネーションや子どもたちの笑顔に心がほっと温まる季節です。家族や仲間と囲む食卓に地域の野菜や果物が並ぶことで農業の営みが日常の中にそっと寄り添っていることを感じていただけたら嬉しく思います。安房の恵みが誰かの「おいしい」の笑顔につながることを願っています。年末年始は、何かと慌ただしくなる頃ですが、ふと立ち止まると色々なところで人と人のつながりを感じます。JA安房ではこれからも地域の農業と人の想いを丁寧に伝えてまいります。寒さが本格化する時期ですので、皆様どうぞ暖かくして健やかに過ごしてください。冬の夜長、「読書の冬」として、JA安房の広報誌も手に取っていただければ嬉しく思います。

- ①クロスワード
パズル答え
②まちがい
さがし答え
③〒・住所
④氏名・年齢
⑤電話番号
⑥広報誌の感想

クイズ当選者(敬称略)

- 鈴木 亜久里(館山市)
川名 智(館山市)
菊村 美佐子(館山市)
能重 智枝(南房総市)
川島 好美(南房総市)
矢生 光子(鋸南町)
鈴木 映秀(南房総市)
根本 悦子(鴨川市)
小原 のん(鴨川市)
佐藤 みえ子(鴨川市)



びわの木が倒れたあの日、私たちは自然の厳しさを痛感しました。しかし、その痛みを乗り越えたことが地域の人々や仲間との絆をより深めるきっかけとなりました。この南房総レモンは、そんな絆の中で育まれ、希望の象徴となっています。南房総の風土と人の温もりに支えられながら私たちは新たな挑戦を続けていきます。

なむやレモン研究会 宮久地 淳



JA 安房 HP

HPはこちらにアクセス

<https://www.ja-awa.or.jp>

JA安房広報誌；JAあわ；第357号
発行日：令和7年11月18日
発行：安房農業協同組合
〒294-0005 千葉県館山市安東72
☎ 0470 (24) 9111



JAグループ

耕そう、大地と地域の未来。